

## 第2回千曲市特別職報酬等審議会会議録（概要）

日時 平成26年5月9日（金）午前9:25～10:30

場所 千曲市役所更埴庁舎 議会第1委員会室

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 審議事項

### （1）配布資料の説明

質疑 議員報酬は一律か。

回答 一律である。議長、副議長は若干高いが。

質疑 議員の期末手当は、どうしてこういう計算の仕方をするのか。

回答 条例に定められており、それに基づいて夏は1.4か月、冬は1.55か月が支給される。

報酬月額に1.4をかけるのは、はっきりした根拠はわからないが、特別職には（一般職にあるような）勤勉手当がないので、それに相当するものとする。

### （2）市議会議員の報酬改定について

意見 前回の会議では引き上げるのはよいが、額はどうかというのが大方の意見だったかと思う。

市になってから今まで3回の答申が出ているが、最初の答申では引き上げる額まで示したが、経済情勢から据え置きが妥当とのことであった。

2回目は、経済情勢から据え置きが妥当とのことであった。

昨年、我々が出した答申では、（結論は据え置きであったが、）議員で10～12%の引き上げ、市長、副市長については、現在、本来支給される額を抑制して支給しているので、まず、これを元に戻すべきであるとのことであった。

今回の諮問は、これに沿ったもので、答申内容を変えるとすれば説得力のあるものでなければならない。

類似市と比べても妥当な額と考える。

意見 市になって10年が立つ。経営努力によりここまできた。市民としても評価すべきと思う。

他市との比較で10～15%を上げて良いと思う。

意見 長野市近郊の市で、須坂市と比べても千曲市は1割以上低い。報酬を上げれば良いということでもないと思うが、前回の市議会議員選挙では、候補者の数が定数に足りるか、足りないかという状況であった。

意見 生活費でもある。日本経済が上向していることを考慮すれば、良いのではないかと思う。

質疑 類似市の議員数はどうなっているか。

回答 諏訪市が15人、須坂市が20人、塩尻市が22人、佐久市と安曇野市が28人である。

質疑 千曲市の人口減少の状況は。

回答 10年間で4,000人位減っている。

減少率、高齢化率も高く、人口増加策を早急に取りまとめたいたいという話はしている。

意見 千曲市の土地の下落が大きい。長野県で一番人気がない。若者が住まない。そういうところで議員も働かなければならないということもある。

意見 前は一般職の給料が引き下げられるという状況の中であって、特別職だけ上げて良いのかということであった。

それが解除されて、正直妥当と思うが市民感情はどうか。

意見 私は長野市に住んでいるが、勤めの関係で千曲市に来て、正直こんなに抑えていたのかという感じである。市民感情さえ乗り越えられれば、妥当な数字と思う。

意見 個人的には上げて良いという意見。

意見 消費税が上がり、(可処分所得が減っている中で)額はともかく、どの位かは上げた方が良い。

意見 議員数を減らすことで、報酬を上げるということは考えられないか。

意見 報酬総額でどうなのかという考え方があっても良いと思う。

意見 議員定数についても少し考えて欲しいということも言っても良いのではないか。

いろいろな意見があり、実際に定数を見直すということは難しいことであるが。

意見 引き上げ額の一つの根拠として、消費税が今年3%上がり、来年2%上がる見込みなので、5%引き上げるというのも理屈としては成り立つのではないか。

意見 金額だけ見ると、この位は上げて良いが、率で10%というのは市民感情からするとどうなのかと思う。

質疑 引き上げる時期として7月、10月というのは、どこから出てくるのか。

回答 条例改正を議会にかける必要があるので、6月議会にかけて7月から、9月議会にかけて10月から引き上げるということである。

意見 国会議員の歳費20%カットが復元されて、お手盛り、市民感情が許さないなどと報道されているが、給料を上げないと景気も良くなれないというのが一般的な常識になってきている。

10%という大きいようだが、元々が低いので。

意見 この額でどうでしょうかという諮問なので、少し削ってみても説明が難しい。

質疑 全員一致でないといけないか。

回答 そんなことはないが、この種のもの多数決というのは適切ではない。異なる意見の方も、最後は大方の意見に合わせてもらいたい。

意見 先ほど理屈をつけるとすれば5%も良いのではと申し上げたが、皆さんの意見がこれで良いということであれば構わない。

意見 先ほどの資料の中に、一般職の平均給料月額よりも低いということがあったが、市民の審判を受けて当選してきた人が、一般職の給料に及ばないというのもどうかと思う。

まとめ いろいろとご意見はあるが、議員報酬総額も考慮する中で個々の報酬も考えるべきという意見や、いきなり10%で良いのかという意見もあったことを会議の要旨に記載する中で、諮問どおり改定することが妥当ということで取りまとめてよろしいか。

意見 慎重に審議した結果ということで了承する。

### (3) 市長・副市長の給料改定について

意見 教育長については、特別職ではないということなので諮問されていないが、同じようにカットされているので、(市長、副市長同様)元に戻すことになると思う。

質疑 一般職でカットされているのは教育長だけか。

回答 (教育長以外の)一般職でもカットされていることはある。本給も管理職手当も。

質疑 仮に市長、副市長等が戻されても、一般職のカットは続くのか。

回答 本給については、55歳以上の高齢職員が民間と比べて高いということで、人勧により1.5%カットされている。

質疑 管理職手当の20%カットを復元する予定はないか。

回答 今のところ検討はしていない。

質疑 それは自主的にやっていることか。

回答 そのとおりである。

まとめ 諮問どおりで良いということで取りまとめてよろしいか。

意見 了承する。

質疑 実施時期については、答申する必要はあるか。

回答 特になくても良い。

## 4 その他

次回開催日は、5月20日(火)午前10時より

会場 議会第1委員会室

## 5 閉会